

コミュニティ農園「くにたちはたけんぼ」・ 田畑とつながる子育て古民家「つちのこや」

活動を行う団体

NPO 法人くにたち農園の会

活動の実施場所

昔ながらの田園風景が残された区域の田畑と古民家（東京都国立市）

活動の概要

「農が身近にある暮らし」には、昔からの「伝統」「文化」「丁寧な暮らしの知恵」がつまっています。都市のなかの田畑で、子どもたちと農的な体験・生き物とのふれあいを行うことを通じて、日々の暮らしをより豊かにするために活動しています。

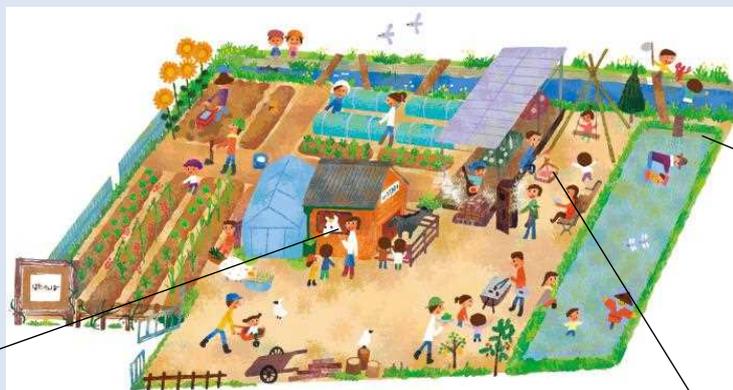
「くにたちはたけんぼ」は田んぼや畑を守りたい人が誰でも参加できる、新しい形の農園です。農的空間ならではの雰囲気を生かして、農業体験、田んぼの生き物探し、食育イベントなどのプログラムを開催しています。

また、年14回、0～2歳児を対象として野外体験を開催する「森のようちえん 谷保のそらっこ」、週2回、放課後の小学生たちが生き物や草木に触れ合う場として畑を提供する「放課後クラブ ニコニコ」、年間100日以上、保育園・幼稚園ほかで出張ふれあいサービスを提供する「くにたち馬飼舎」等の活動をしています。

コミュニティ農園「くにたちはたけんぼ」



暮らしのそばで馬と親しむ



田んぼの生き物探し



自発的に遊びや学びを創造する放課後クラブ

田畑とつながる子育て古民家「つちのこや」では、乳幼児向けの食の体験など幅広い層に向けた体験を提供しています。

これらの活動などを通じて、年間約一万人が「くにたちはたけんぼ」・「つちのこや」を訪れています。

子育て古民家「つちのこや」



庭と縁側がある古民家



子育て広場のほか、子どもの健康や食に関する講座も開催

「くにたちはたけんぼ」「つちのこや」の特徴のひとつとして、多種の専門家（農家・建築家・大工・料理家・職人・動物飼育員・アーティスト等）が集う地域のコミュニティスペースとして機能しており、「自分たちが暮らしたい環境を自分たちの手でつくる」というコンセプトのもと、子どもから大人まで楽しめる双方向の学びの機会を提供しています。